

4 . 各報告書の詳細

すべての分析結果報告書の詳細について記載します。

分析結果報告書確認表示用の画面はA 4 用紙印刷を考慮し、小さめにレイアウトされています。

詳細では、個々の入力方法の詳細について記しています。

4 - 1 分析結果報告書 [1]

水質試料に関する分析結果報告書[1]の入力方法の詳細を記します

表4-1 水質試料（カドミウム）（分析結果報告書 [1] ）

| | |
|--|---|
| 分析結果 | 数値（半角）入力。測定回数 3 回の結果を記入。 単位：mg / l。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 |
| ・分析結果(検出下限値以上) (検出下限未満での検出下限の値) | 検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字 3 桁</u> （有効数字 4 桁目を四捨五入）で記入。 検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字 1 桁</u> で記入。 |
| (注) 検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。 | 分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。 |
| 分析開始月日 分析終了月日 | コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。分析終了日は定量操作を完了した日。 |
| 分析方法 | コンボボックスより選択。 <u>「その他」を選んだ場合には、全角文字</u> で具体的な分析方法を記入する。 |
| 使用した水 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 分析条件 | 3 回測定（併行測定）のうち、1 回目の分析条件を記入する。 |
| < 前処理 > 試料量 準備操作（前処理） 前処理後の定容量 | 数値（半角）入力。単位：ml。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：ml。定容としなかった場合は記入しない。 |
| < 溶媒抽出等 > 準備操作（溶媒抽出等） 前処理後の溶液の分取量 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：ml。前処理後の溶液を定容としなかった場合は記入しない。 |

| | |
|----------------|--|
| 溶媒抽出 | |
| 溶媒の種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| キレートの種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 抽出回数 | 数値（半角）入力。単位：回。 |
| 溶媒の使用量 | 数値（半角）入力。1回当たりの使用量。単位：m l。 |
| 最終の定容量 | 数値（半角）入力。単位：m l。 |
| 最終溶液（試験溶液）の液性 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| <原子吸光法> | |
| 試験溶液の希釈 | 数値（半角）入力。希釈しない場合には「1」。 |
| 電気加熱法 | 数値（半角）入力。単位：μ l。 |
| 注入量 | |
| 注入の方法 | コンボボックスより選択。 |
| 原子化の方法 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| モ`ファイアの添加 | コンボボックスより選択。 |
| 原子吸光装置バックラウト補正 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 測定波長 | 数値（半角）入力。単位：n m。 |
| <ICP発光分光分析法> | |
| 試験溶液の希釈 | 数値（半角）入力。希釈しない場合には「1」。 |
| 装置型式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| バックラウト補正 | コンボボックスより選択。 |
| 超音波初ライザ-の使用 | コンボボックスより選択。 |
| 測定時間 | 数値（半角）入力。単位：秒。 |
| 測定波長 | 数値（半角）入力。単位：n m。 |
| <ICP質量分析法> | |
| 試験溶液の希釈 | 数値（半角）入力。希釈しない場合には「1」。 |
| 積分時間 | 数値（半角）入力。単位：秒。 |
| 質量数 | 数値（半角）入力。定量に用いた質量数1つを記入。 |
| <検量線の作成等> | |
| 定量方法 | コンボボックスより選択。 |
| 方法 | |
| 内標準物質の種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 検量線の作成 | 数値（半角）入力。整数。 |
| 作成点数 | |
| 作成範囲 | 数値（半角）入力。分析装置で測定する溶液中の濃度(m g / l)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 |
| 最小濃度 | |
| 最大濃度 | 数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。 |

| | |
|--------------------------|---|
| 最高濃度の指示値 | 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 試料 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 空試験 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 検出下限値 | 数値（半角）入力。単位：mg / l（試料中の濃度とする）。 |
| 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 | 全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、150文字以内で簡潔に記入する。 |
| 計算式 | 全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、150文字以内で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。 例（フレーム原子吸光法：溶媒抽出せず） 分析結果（mg / l） = （検量線から求めた測定溶液濃度 mg / l - 空試験の濃度 mg / l） × 希釈倍率 × 試験溶液の量 ml ÷ 試料量（ml） |

4 - 2 分析結果報告書 [2]

水質試料に関する分析結果報告書 [2] の入力方法の詳細を記します。

表4-2 水質試料（鉛）（分析結果報告書 [2] ）

表4-1 水質試料（カドミウム）（分析結果報告書 [1] ）と同じ

4 - 3 分析結果報告書 [3]

水質試料に関する分析結果報告書 [3] の入力方法の詳細を記します。

表4-3 水質試料（砒素）（分析結果報告書 [3] ）

| | |
|--|--|
| 分析結果 | 数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。 単位：mg / l。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 |
| ・分析結果(検出下限値以上) | 検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字3桁</u> （有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 |
| (検出下限未満での検出下限の値) | 検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。 |
| (注) 検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。 | 分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。 |
| 分析開始月日 | コンボボックスより選択。 |
| 分析終了月日 | 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。分析終了 |

| | |
|--|---|
| | 日は定量操作を完了した日。 |
| 分析方法 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。 |
| 使用した水 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 分析条件 | 3回測定（併行測定）のうち、1回目の分析条件を記入する。 |
| < 前処理（試験溶液の調製） > 試料量 前処理に用いた酸の量 前処理後の定容量 （試験溶液量） | 数値（半角）入力。単位：g。 数値（半角）入力。単位：ml。使用しない場合は「0」 数値（半角）入力。単位：ml。定容としなかった場合は記入しない。 |
| < 原子吸光法、ICP発光分析法 > 試験溶液の分取量 | 数値（半角）入力。単位：ml。前処理後定容とせず、全量とした場合は記入しない。 |
| 予備還元を試薬 よう化カリウム （酸を除く） 塩化ナトリウム（ ） 鉄（ ） 臭化カリウム アスコルビン酸 その他 | コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 全角文字で具体的に記入。 |
| 予備還元後の溶液 定容量 | 数値（半角）入力。単位：ml。定容としなかった場合は記入しない。 |
| 予備還元後の溶液 塩酸濃度 硫酸濃度 | 数値（半角）入力。単位：mol/l。概略濃度を記入。 数値（半角）入力。単位：mol/l。概略濃度を記入。 |
| 還元剤 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 導入方法 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 原子吸光装置 バックラウンド補正 測定波長 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：nm。 |
| ICP発光分光装置 型式 バックラウンド補正 超音波ブライダの使用 測定時間 測定波長 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：秒。 数値（半角）入力。単位：nm。 |
| < 検量線の作成等 > 定量方法 方法 内標準物質の種類 | コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 |

| | | |
|--------------------------|-----------|--|
| | | で具体的に記入。 |
| 検量線の作成 | 作成点数 | 数値（半角）入力。整数。 |
| | 作成範囲 最小濃度 | 数値（半角）入力。原子吸光法及びICP発光分析法では測定する溶液中の濃度(mg / l)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 |
| | 最大濃度 | 数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。 |
| | 最高濃度の指示値 | 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 試料 | 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 空試験 | 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 検出下限値 | | 数値（半角）入力。単位：mg / l（試料中の濃度とする）。 |
| 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 | | 全角文字入力。「。」「、」「数字」「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で簡潔に記入する。 |
| 計算式 | | 全角文字入力。「。」「、」「数字」「記号」等も全角文字入力とし、 <u>150文字以内</u> で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。水質試料（カドミウム）と同様。 |

4 - 4 分析結果報告書 [4]

水質試料に関する分析結果報告書[4]の入力方法の詳細を記します。

表4-4 水質試料（ほう素）（分析結果報告書 [4]）

| | |
|--|---|
| 分析結果 | 数値（半角）入力。測定回数3回の結果を記入。 単位：mg / l。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 |
| ・分析結果(検出下限値以上) | 検出下限値以上では、 <u>分析結果を有効数字3桁</u> （有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 |
| (検出下限未満での検出下限の値) | 検出下限値未満では、 <u>検出下限値を有効数字1桁</u> で記入。 |
| (注) 検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。 | 分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。 |
| 分析開始月日 | コンボボックスより選択。 |
| 分析終了月日 | 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。分析終了日は定量操作を完了した日。 |
| 分析方法 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。 |
| 使用した水 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 分析条件 | 3回測定（併行測定）のうち、1回目の分析条件を記入する。 |

| | |
|--|---|
| <p>< 吸光光度法 ></p> <p>試料量</p> <p>測定波長</p> | <p>数値（半角）入力。単位：m l。</p> <p>数値（半角）入力。単位：n m。</p> |
| <p>< ICP発光分光分析法 ></p> <p>ろ過等の操作</p> <p>試験溶液の希釈</p> <p>装置 型式</p> <p>バックグラウンド補正</p> <p>超音波初ライザ-の使用</p> <p>測定時間</p> <p>測定波長</p> | <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。希釈しない場合には「1」。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。単位：n m。</p> |
| <p>< ICP質量分析法 ></p> <p>ろ過等の操作</p> <p>試験溶液の希釈</p> <p>積分時間</p> <p>質量数</p> | <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> <p>数値（半角）入力。希釈しない場合には「1」。</p> <p>数値（半角）入力。単位：秒。</p> <p>数値（半角）入力。定量に用いた質量数1つを記入。</p> |
| <p>< 検量線の作成等 ></p> <p>定量方法 方法</p> <p>内標準物質の種類</p> | <p>コンボボックスより選択。</p> <p>コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。</p> |
| <p>検量線の作成 作成点数</p> <p>作成範囲 最小濃度</p> <p>最大濃度</p> <p>最高濃度の指示値</p> | <p>数値（半角）入力。整数。</p> <p>数値（半角）入力。吸光光度法では分液漏斗に取った量（μg）、ICPでは分析装置で測定する溶液中の濃度（mg/l）を記入。「ゼロ(0)」は含めない。</p> <p>数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。</p> <p>数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。</p> |
| <p>試料 指示値</p> | <p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p> |
| <p>空試験 指示値</p> | <p>数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。</p> |
| <p>検出下限値</p> | <p>数値（半角）入力。単位：mg/l（試料中の濃度とする）。</p> |
| <p>分析実施にあたっての留意した点 及び問題と感じた点</p> | <p>全角文字入力。「。」「、」「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、<u>150文字以内</u>で簡潔に記入する。</p> |
| <p>計算式</p> | <p>全角文字入力。「。」「、」「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、<u>150文字以内</u>で記入する。原則として、分析条件に記載されている用語を用いて記載する。水質試料（カドミウム）と同様。</p> |

4 - 5 分析結果報告書 [5]

水質試料に関する分析結果報告書 [5] の入力方法の詳細を記します。

表4-5 水質試料 (亜鉛) (分析結果報告書 [5])

表4-1 水質試料 (カドミウム) (分析結果報告書 [1]) と同じ

4 - 6 分析結果報告書 [6]

水質試料に関する分析結果報告書 [6] の入力方法の詳細を記します。

表4-6 水質試料 (ベンゾ (a) ピレン、ベンゾフルアン、4-ニトロフェン) (分析結果報告書 [6])

| | |
|---|---|
| 測定回数 | 1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の回数）を記入。 |
| 分析結果 | 数値（半角）入力。単位：μg/l。 3項目のうち分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。 |
| ・分析結果（検出下限値以上） | 検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁（有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 |
| （検出下限未満での検出下限の値） | 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。 |
| （注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当として求める。 | 分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。 |
| 分析開始月日 分析終了月日 | コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。分析終了日は定量操作を完了した日。 |
| 分析方法 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。 |
| 分析条件 | （2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する） |
| <測定用試料液の調製> 試料量 | 数値（半角）入力。単位：ml。 |
| 溶媒抽出 塩化ナトリウムの添加量 溶媒の種類 | 数値（半角）入力。単位：g。添加しない場合は「0」。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 |

| | |
|--------------|--|
| 1回当たりの溶媒の使用量 | で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：m l。 |
| 1回当たりの抽出時間 | 数値（半角）入力。単位：分。 |
| 抽出回数 | 数値（半角）入力。単位：回。 |
| クリーンアップ方法 | コンボボックスより選択。 「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 濃縮の方法 | 実施した場合には、チェックボックスにチェック。 |
| ロータリ-エバポレーター | 実施した場合には、チェックボックスにチェック。 |
| 窒素吹き付け | その他の方法を実施した場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| その他の方法 | |
| 定容量（測定用試料液量） | 数値（半角）入力。単位：m l。 |
| < GC / MS > | |
| GC 型式 | すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| MS 型式 | |
| 装置型式 | |
| イオン検出法 | |
| カラム 型式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 内径 | 数値（半角）入力。単位：mm。 |
| 長さ | 数値（半角）入力。単位：m。 |
| 膜厚 | 数値（半角）入力。単位：μm。 |
| カラム昇温条件 | 温度（ ）、温度保持（分）、昇温速度（ /分）、昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。 |
| キャリアーガス条件 種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 流量 | 数値（半角）入力。単位：m l /分。 |
| 注入 量 | 数値（半角）入力。GCへの注入量(μl)を記入。 |
| 注入口温度 | 数値（半角）入力。単位： 。 |
| 注入方式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 測定用質量数 | すべての項目とも、数値（半角）入力。 定量に用いた質量数1つを記入。 |
| < 標準原液 > | |
| 区分 | コンボボックスより選択。 |
| 購入：メーカー名 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| < 検出下限 > | |
| 検出下限 | 数値（半角）入力。試料中の濃度（μg / l）として記入。 |
| < 検量線の作成等 > | |
| 定量方法 方法 | コンボボックスより選択。 |

| | |
|--------------------------|---|
| 内標準物質の種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 内標準物質の添加量 | 数値（半角）入力。GC/MS測定用試料液中の量（ng）で記入。 |
| サロゲートの使用 有無 | コンボボックスより選択。 |
| サロゲート：種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 添加量 | 数値（半角）入力。試料中への添加量（ng）として記入。 |
| 検量線の作成 作成点数 | 数値（半角）入力。整数。 |
| 作成範囲 最小量 | 数値（半角）入力。GCの注入量（ng）を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 |
| 最大量 | 数値（半角）入力。単位：最小量と同じ。 |
| 最高濃度の指示値 | 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 試料 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 空試験 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 | 全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、150文字以内で簡潔に記入する。 |
| 計算式 | 全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、150文字以内で記入する。水質試料（カドミウム）と同様。 |

4 - 7 分析結果報告書 [7]

大気試料に関する分析結果報告書[7]の入力方法の詳細を記します。

表4-7 大気試料（ベンゼン等）（分析結果報告書 [7] ）

| | |
|---------------------------------------|---|
| 測定回数 | 1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の回数）を記入。 |
| 分析結果 | 数値（半角）入力。単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$ 。 4項目のうち分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力。 「検出下限値以上」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。 測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。 |
| ・分析結果（検出下限値以上） | 検出下限値以上では、分析結果を有効数字3桁（有効数字4桁目を四捨五入）で記入。 |
| （検出下限未満での検出下限の値） | 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。 |
| （注）検出下限：例えば、空試験を行ってそれらの測定値の標準偏差の3倍相当と | 分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（検出下限値以上または検出下限未満での検出下限の値）」は |

| | |
|--|---|
| して求める。 | 必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。 |
| 分析開始月日 分析終了月日 | コンボボックスより選択。 分析開始日は分析（前処理操作を含む）を開始した日。分析終了日は定量操作を完了した日。 |
| 分析方法 分析時の温度 分析時の大気圧 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的な分析方法を記入する。 数値（半角）入力。単位：。 数値（半角）入力。単位：kPa。 |
| 分析条件 | （2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する） |
| < 試料の濃縮 > 試料の希釈 希釈操作 希釈倍率 試料加圧前圧力 試料加圧後圧力 試料量（濃縮量） 濃縮部 除湿部 濃縮部の加熱温度 トラップ管の加熱温度 パージガス | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。希釈しない場合には「1」。 数値（半角）入力。単位：kPa。圧希釈以外では記入しない。 数値（半角）入力。単位：kPa。圧希釈以外では記入しない。 数値（半角）入力。単位：ml。希釈した場合には希釈した試料量。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 コンボボックスより選択。 数値（半角）入力。単位：。 数値（半角）入力。単位：。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| < GC / MS、FID > GC 型式 MS 型式 装置型式 イオン検出法 | 該当する欄に記入する。 すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| カラム 型式 内径 長さ 膜厚 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：mm。 数値（半角）入力。単位：m。 数値（半角）入力。単位：μm。 |
| カラム昇温条件 | 温度（）、温度保持（分）、昇温速度（/分）、昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。 |
| キャリアーガス条件 種類 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字 |

| | | |
|--------------------------|---|---|
| | 流量 | で具体的に記入。 数値（半角）入力。単位：m l /分。 |
| 注入 | 注入口温度 注入方式 | 数値（半角）入力。単位：。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 測定用質量数 | | すべての項目とも、数値（半角）入力。 定量に用いた質量数1つを記入。 |
| G C | 検出器 メークアップガス 燃料ガス 助燃ガス | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 「流量」は数値（半角）入力。単位：m l /分（助燃ガスはl /分）。 「種類」は、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| < 標準ガス > | 区分 購入：メーカー名 | コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| < 検出下限 > | 検出下限 | 数値（半角）入力。試料中の濃度（ $\mu\text{g} / \text{m}^3$ ）として記入。 |
| < 検量線の作成等 > | 定量方法 方法 内標準物質の種類 内標準物質の添加量 | コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 数値（半角）入力。濃縮部中の量（n g）で記入。 |
| 検量線の作成 | 作成点数 作成範囲 最小量 最大量 最高濃度の指示値 | 数値（半角）入力。整数。 数値（半角）入力。G Cの注入量(n g)を記入。「ゼロ(0)」は含めない。 数値（半角）入力。単位：最小量と同じ。 数値（半角）入力。「試料の指示値」、「空試験の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 試料 | 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 空試験 | 指示値 | 数値（半角）入力。「検量線最高濃度の指示値」と同じ単位で記入。 |
| 分析実施にあたっての留意した点及び問題と感じた点 | | 全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、 150文字以内で簡潔に記入する。 |
| 計算式 | | 全角文字入力。「。」、「、」、「数字」、「記号」等も全角文字入力とし、 150文字以内で記入する。水質試料（カドミウム）と同様。 |

4 - 8 分析結果報告書 [8]

ばいじん抽出液試料に関する分析結果報告書[8]の入力方法の詳細を記します。

表4-8 ばいじん抽出液試料（ダイオキシン類）（分析結果報告書〔8〕）

| | |
|--|--|
| 測定回数 | 1～5の整数（半角）入力。分析用試料のはかり取りからGC/MS等の測定までの一連の操作を行った回数（併行測定の数）を記入。 |
| 分析結果 | <p>数値（半角）入力。単位：ng/ml。</p> <p>（分析を実施しない項目があった場合には、「9999」と入力）</p> <p>「定量下限値以上」、「検出下限～定量下限」又は「検出下限未満での検出下限の値」欄のうち該当する一方に記入。</p> <p>測定回数分の分析結果を記入。例えば、1回測定の場合には、「1回目の分析結果」欄に記入し、「2～5回目の分析結果」欄は記入しない。</p> |
| ・分析結果（定量下限値以上） | 定量下限値以上では、有効数字2桁（有効数字3桁目を四捨五入）で記入。 |
| （検出下限～定量下限） | 検出下限以上定量下限値未満では、有効数字2桁（有効数字3桁目を四捨五入）で記入。 |
| （検出下限未満での検出下限の値） | 検出下限値未満では、検出下限値を有効数字1桁で記入。 |
| <p>（注）分析結果は必須項目。確定する際に、値の入力が行われていない場合は、必須項目という条件で、「分析結果（定量下限値以上、検出下限以上定量下限未満の値または検出下限未満での検出下限の値）」は必須項目です。該当する値を入力して下さい。」というエラーメッセージが表示される。</p> <p>検出下限、定量下限とは、試料における検出下限、定量下限値を示します。</p> | |
| 分析条件 | （2回以上の併行測定を行った場合には、1回目の分析条件を記入する） |
| < 試料のはかり取り等 > 試料のはかり取り量 | 数値（半角）入力。単位：ml。 |
| クリーニング剤の添加 添加箇所 | コンボボックスより選択。 コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| < クリーンアップ > 硫酸処理 シリカゲルコート 多層シリカゲルコート | すべての項目とも、コンボボックスより選択。 |
| その他の操作 GC/MS分析用試料液の調製方法 硫黄分除去の処理 転用溶媒 | すべての項目とも、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| GC/MS分析用試料液 PCDDs及びPCDFs用 DL-PCB用 | 数値（半角）入力。単位：μl。 |
| < GC/MS > 対応物質 PCDDs及びPCDFs DL-PCB | <p>（対応物質ごとにGC/MS 1～5に記入する）</p> <p>チェックボックスにチェック。分析対象とした塩素化物を選択。</p> |

| | | |
|--------------|-----------|--|
| G C | 型式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| カラム | 型式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| | 内径 | 数値（半角）入力。単位：mm。 |
| | 長さ | 数値（半角）入力。単位：m。 |
| | 膜厚 | 数値（半角）入力。単位：μm。 |
| 昇温条件 | | 温度（ ）、温度保持（分）、昇温速度（ /分）、昇温回数（回）とも数値（半角）入力。5回以上の昇温を行った場合には、最終の温度と温度保持を記入。 |
| 注入量 | | 数値（半角）入力。単位：GCへの注入量(μl)を記入。 |
| | 注入口温度 | 数値（半角）入力。単位： 。 |
| | 注入方式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| キャリアーガス条件 | 流量 | 数値（半角）入力。単位：ml/分。 |
| MS型式 | 型式 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| 測定時の分解能 | | コンボボックスより選択。 |
| イオン化 | 方法 | コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| | 電圧 | コンボボックスより選択。 |
| | 電流 | コンボボックスより選択。 |
| | イオン源温度 | 数値（半角）入力。単位： 。 |
| < 検量線の作成 > | | |
| PCDDs及びPCDFs | 作成点数 | 数値（半角）入力。整数。 |
| | 作成範囲 最小濃度 | 数値（半角）入力。GCに注入する標準液の濃度(ng/ml)を記入。「ゼロ(0)」は含めず、異性体で異なる場合には最小値を記入。 |
| | 最大濃度 | 数値（半角）入力。単位：最小濃度と同じ。異性体で異なる場合には、最大値を記入。 |
| | 繰り返し数 | 数値（半角）入力。整数。 |
| DL-PCB | 作成点数 | PCDDs及びPCDFsと同様に記入。 |
| | 作成範囲 最小濃度 | |
| | 最大濃度 | |
| | 繰り返し数 | |
| 標準物質(液) | | |
| PCDDs及びPCDFs | 製造メ-カ | 製造メ-カは、コンボボックスより選択。「その他」を選んだ場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| | 開封後の月数 | |
| DL-PCB | 製造メ-カ | 開封後の月数は、数値（半角）入力。単位：月。 |
| | 開封後の月数 | |

| | |
|-------------------|--|
| 装置安定性 感度変動 | 数値（半角）入力。単位：％。 |
| 保持時間変動 | 数値（半角）入力。単位：％。 |
| < 内標準物質の添加量と回収率 > | 使用した内標準物質に該当する欄に記入。「その他」の内標準物質を使用した場合には、全角文字で具体的に記入。 |
| グリソアッフ スパイク 添加量 | 数値（半角）入力。添加した内標準物質の量 (ng) を記入。 |
| グリソアッフ スパイク 回収率 | 数値（半角）入力。添加した内標準物質の回収率 (%) を記入。 |
| シリコニス スパイク 添加量 | 数値（半角）入力。添加した内標準物質の量 (ng) を記入。 |
| < 空試験値及び相対感度係数 > | |
| 空試験値(操作ブロック) | 数値（半角）入力。試料中の濃度 (ng / ml) に換算した値で記入(分析結果と同じ単位とする)。 <u>空試験値が検出されない場合には記入しない(空欄とする)。</u> |
| 相対感度係数(RRFcs) | 数値（半角）入力。2つのモーターイオン(質量数)では平均値を記入。 |
| 相対感度係数(RRFrs) | |
| < 検出下限値 > | 数値（半角）入力。 <u>有効数字1桁</u> で記入。 |
| 装置の検出下限 | GC/MSで検出できる最小量 (pg) を記入。 |
| 試料における検出下限 | 検出できる試料中の最小濃度 (ng / ml) を記入(分析結果と同じ単位とする)。 |
| 試料測定時の検出下限 | 検出できる試料中の最小濃度 (ng / ml) を記入(分析結果と同じ単位とする)。 <u>分析結果が検出下限未満であった場合に記入する。</u> |
| < 測定質量数 > | 各塩素化合物ごとに2つまでを選択(定量に用いた質量数を選択)。 <u>質量数の表記は、記載しているマニュアル等により異なっていることもあり、質量数0.01以下ではそのことを考慮して選択する(近い質量数を選択する)。</u> 「その他」を選んだ場合には、数値（半角）で具体的に記入。 |